



第一化成控股（開曼）股份有限公司
IKKA HOLDINGS(CAYMAN) LIMITED

2025 年の誠実性管理の実施

一、社内教育と研修

当社では、社内教育・研修を通じて全従業員に誠実なビジネスの概念を広め、業務遂行時に不正行為が行われないよう注意するよう呼びかけています。今年は、1,477 名を対象に、合計 4,431 時間のインテグリティ・マネジメント教育研修を実施しました。

二、外部研修に参加する

取締役及び管理職を対象に、インサイダー取引の法的根拠、内部関係者関連法令、コーポレートガバナンス、営業秘密、内部統制関連規範、企業財務報告の虚偽防止及び不正腐敗防止のための内部統制設計・監査技術等の外部研修コースへの参加を手配した。本年度、全取締役は 6 時間以上の取締役・監査役研修課程を修了し、コーポレートガバナンス責任者、監査責任者及びその代理人、会計責任者及びその代理人は 12 時間の継続教育課程を修了した。

三、定期レビュー

当社グループ各社の各部門を対象に、誠実性に関わる業務活動のリスク評価を実施し、監査部門が公認会計士と連携して内部統制監査を実施することで、全体の仕組みが確実に機能し、不正行為を未然に防ぐよう努めています。今年、事業の誠実性に関する違反は発見されませんでした。

四、報告システム

当社は、ウェブサイト（ikka.com.tw）にステークホルダーエリアを設けています。報告/異議申し立てのチャンネルに加えて、ウェブベースの独立取締役メールボックスもあります。独立取締役は、このメールボックスからメールを受信して、関連する問題と処理プロセスを理解することができます。当社のウェブサイトには、中国語/英語に加えて、日本のサプライチェーンに基づいた日本語バージョンもあり、ステークホルダーが

使用するのに役立ちます。

五、ステークホルダーとの継続的なコミュニケーション

IKKA は持続可能な経営を追求し、持続可能な責任方針と経営ガイドラインを策定するための参考指標として、会社に関係するステークホルダーと効果的かつ多様なコミュニケーション チャンネルを確立し、IKKA に対する彼らのニーズと期待を理解することに取り組んでいます。会社の利害関係者は、専用のメールボックス チャンネルを通じて貴重な提案やアドバイスを提供することができます。当社では、各ステークホルダーの意見や情報を収集し、フィードバックするために、各ステークホルダーに対応した機能ユニットを設置しております。